

GLP-1受容体作動薬の自己注射をされている方へ

ビクトーザ、バイエッタ、リクスミア、ビデュリオン、トルリシティ、オゼンピック

シックデイへの対応

シックデイとは、発熱、下痢、嘔吐をきたし、または食欲不振のため食事ができないときを言います

このような状態のときは、以下の事に注意しましょう



1)血糖測定	体調が悪いと血糖が大きく変化しやすいので、血糖自己測定を行うことが役に立ちます。
2)水分補給	体調が悪いと高血糖で脱水症状を起こしやすくなります。水分を十分にとるようにしましょう。
3)食事	食欲がなくても、お粥や果汁など糖質を含む食品を摂るようにします。1回分の分量を減らし、回数を増やすといいでしょう。
4)その他	シックデイが2日以上続く場合は受診しましょう 食事が全く摂れない、 高血糖(300mg/dL以上) が半日以上続く、口渇がひどいなどの場合は、早めに受診しましょう

この薬剤を始めたばかりの方、又は最近注射の量を増やした方

副作用の可能性が あります	注射開始や増量後に胃腸障害(便秘、下痢、胃の不快感など)が現れることがあります。 症状が軽い場合は、しばらく注射を継続すると、ほとんどの場合改善しますが、症状が2日以上続く場合は受診してください。 又、まれに急性膵炎を起こす方がいます。激しい痛みや嘔吐がある場合は、使用を中止してすぐ主治医に相談してください。
------------------	---

すでに2カ月以上継続して使用している方

注射の量	この薬剤では原則として強い低血糖は起こしません。 又、シックデイの時は、普段より血糖値が上昇していることが多くみられます。食事が全く摂れない場合も、普段の量を注射しましょう。
------	--

低血糖になった時は

もし、低血糖になった場合は、**糖分(ブドウ糖又は砂糖 10g以上)**を摂取してください。

他の糖尿病薬を併用している方は

使用しているお薬によって対応が異なります。それぞれの対応を参考にして下さい。

何か困った場合は、必ず主治医に相談し、我慢しすぎないようにしましょう